

令和4年度 校務分掌部・学部取組目標と具体的な取組

	グランドデザインと関連する重点目標	取組目標	具体的な取組
教務部	2②ICTを活用した授業と校務処理の推進。	・ICTを活用した校務処理の改善、充実に努める。	・校務支援システムの検証、活用、改善（出席簿、指導要録、施設予約透） ・校務処理のスリム化、改善（電子決裁、提出物等）
学習指導部	1①新学習指導要領に対応した指導計画の作成。主体的・対話的で深い学びを意識した、授業改善。	・新学習指導要領に対応した年間や単元の指導計画を作成し、授業改善を目指す。 ・研究授業等を通して、主体的・対話的で深い学びを意識した授業の取り組みを目指す。	・年間指導計画、単元指導計画の様式の作成、管理 ・個別の教育支援計画の作成、管理（3観点での評価）
児童生徒指導部	2①安全教育の推進。保護者・地域との連携による感染症、防災対策の徹底。	・避難訓練、引き渡し訓練等の各種訓練の実施、改善に取り組み、安全教育の充実に努める。	・避難訓練、引き渡し訓練等、各種訓練の見直し、実践 ・学校防災マニュアル、防火防災計画の見直し、運用 ・防災に関する研修の計画、実施
地域支援部	3①地域社会に開かれた教育課程へ向けて情報発信の工夫・充実。	・関係機関担当者との情報交換と地域のニーズを踏まえた情報発信の工夫を行う	・特別支援教育連絡会の継続。 ・地域のニーズを踏まえた研修内容を検討、実施。
健康指導部	2①安全教育の推進。保護者・地域との連携による感染症、防災対策の徹底。	・感染症・熱中症対策を適切に行い、安心・安全な学びの環境を整え、対策と学習保障のバランスを図る。	・県の指針に沿った対策の具体的な提示と、教員・保護者へ確実な周知 ・充実した学びの場設定のための各学部・他分掌部と連携と、学習や食育環境の整備。
進路指導部	3②関係機関等との連携。児童生徒の豊かな生活を支える取組の推進。	・卒業後の自立に向けた本校の進路指導について、保護者、地域社会、関係機関のニーズに合った情報提供の充実に努める。	・保護者、地域社会、関係機関が知りたい情報内容についての調査、把握。 ・ホームページや一斉メール等、情報発信方法の工夫。 ・ニーズに合った情報の提供。 ・保護者向け施設説明会、研修会などの実施方法の見直し。

渉外部	3 ①地域社会に開かれた教育課程へ向けて情報発信の工夫・充実。	・保護者や同窓会、地域のPTA関係団体との連携を深める。	・HP等を活用したPTA活動についての情報提供 ・保護者が参加しやすい行事の設定、参加方法の工夫 ・特教振事務局として保護者・他校PTAとの協力体制作り ・同窓会主体での支援体制作り
特別活動部	1 ①新学習指導要領に対応した指導計画の作成。主体的・対話的で深い学びを意識した、授業改善。	・各活動を通して児童生徒が学習の成果を十分に発揮し、成就感を味わえるようにする。	・児童生徒の実態や学習状況、新型コロナウイルス感染症流行状況を踏まえた活動の持ち方の工夫 ・自主的、実践的な活動に向けた学習内容の具体的な提示
情報部	2 ②ICTを活用した授業と校務処理の推進。	・GIGAタブレットおよび校務支援システムにおいて機能を効果的に利活用し、デジタル化を推進する。	・Formsの効果的な利活用について ・Teamsの利活用について ・ZoomやTeamsを使ったオンライン授業 ・電子黒板の利活用について ・校務支援システムの機能の理解と活用
小学部	1 ①新学習指導要領に対応した指導計画の作成。主体的・対話的で深い学びを意識した、授業改善。	自立活動の指導において、個々の実態を的確に把握し、ねらいを明確にした指導の実践へとつなげていく基盤を作る。	・実態把握における自立活動支援シート等の活用 ・これまで行ってきた自立活動に関する指導内容の収集と整理 ・学習指導要領で示されている自立活動の内容に基づいた指導内容一覧の作成
中学部	1 ①新学習指導要領に対応した指導計画の作成。主体的・対話的で深い学びを意識した、授業改善。	・各教科等合わせた指導における、単元指導計画に基づいた個に応じた評価の在り方と指導の反省を一体化し、授業改善を図る。	・個に応じた生徒の自己評価方法とその活用の仕方を検討、実践 ・「めあて」の示し方の工夫と「めあて」に準拠した評価の仕方の検討 ・評価に基づいた授業改善の実施
高等部	1 ①新学習指導要領に対応した指導計画の作成。主体的・対話的で深い学びを意識した、授業改善。	・昨年まで新学習指導要領に沿って見直した年間指導計画等を検証する。	・研究授業の実施 ・研究会の実施 ・年間指導計画の修正 ・単元指導計画の修正

	関連する 重点目標	取組目標	具体的な取組
創立 40周年 校内 委員会	1②創立40周年記念事業の円滑な実施。	・創立40周年記念事業を円滑に実施する。	・校内委員会の円滑な実施・運営 ・実行委員会の円滑な実施・運営 ・創立40周年記念式典の実施 ・創立40周年記念行事の実施 ・創立40周年記念誌の発行
働き方 改革 委員 会	4②働き方改革の継続。ワークライフバランスの推進、教職員の保健管理の充実。	・業務改善と働きやすい職場環境作りに努める。	・勤務時間の適正化 ・意識改革 ・業務改善（ICTの活用など） ・学校運営体制の充実 ・教職員間のコミュニケーションの円滑化と互いに支え合う雰囲気の醸成